京ヶ峰の四季

第63号
2018年 夏号

昨年の夏祭りの様子です。盛り上がりましたね!

今年は8月8日(水)。80周年記念で花火も豪華に!

42年間を振り返る

PSW部・リハビリ部部長　竹中 秀彦

私は、1976年(昭和51年)当院に入職しました。それから42年が経ちましたが、その間の民間精神科PSWとしての自らの実践と、国の制度政策の変遷を振り返りたいと思います。

入職当時は、精神衛生法の下で作業療法・レクリエーション療法・生活指導が盛んに行われ、病棟の開放化や様々な制限を少なくする活動に取り組んでいました。その後、社会復帰支援に取り組み、職親開拓や「社会復帰棟」の新設、共同住宅「五本松荘」(後に県内初のグループホーム)の運営、デイケアの開設、地域家族会の作業所作り、精神障害者の医療助成制度の創設等様々な活動に取り組んできました。

しかし、精神保健医療福祉に関する制度政策は大きく変化し、特に1988年(昭和63年)に施行された「精神保健法」は、本人の同意に基づく任意入院制度の創設や社会復帰の促進等が盛り込まれました。その後、保護義務者を保護者に変更、精神保健福祉手帳の創設や市町村の役割を明記する等も盛り込み、名称も「精神保健福祉法」に変更され、「精神分裂病」を「統合失調症」と呼称変更等4度の一部改正がありました。さらに、2014年(平成26年)には、保護者制度の廃止や退院後生活環境相談員の選任等が定められた改正でした。

一方、2006年(平成18年)には障害の種類にかかわらず、障害福祉サービスを一元化した「障害者自立支援法(現在は障害者総合支援法)」が施行され、この間に「個人情報保護法」「医療観察法」「いじめ防止対策推進法」の施行、「障害者権利条約」の批准、「生活困窮者自立支援法」「障害者差別解消法」等様々な分野で変革が求められてきました。

そして、2004年(平成16年)に「精神保健福祉施策の改革ビジョン」で入院医療中心から地域生活中心へと厚労省が発表し、昨今の地域移行・地域定着支援事業が促進され、2018年(平成30年)の障害福祉サービス等報酬改正では、一般就労に移行した障害者に生活面の支援を行う新サービス「就労定着支援事業」や日常生活に必要な助言や医療機関等との連絡調整を行う「自立生活援助事業」が新設されました。

一方、診療報酬改定では、2016年(平成28年)に精神科病床の削減を条件として新設された「精神科地域移行機能強化病棟入院料」は、全国で38病院(愛知県4病院)と少なく、2018年(平成30年)に精神科地域医療を推進するために「精神科重症患者集中支援管理料」の要件を緩和して変更された「精神科在宅患者支援管理料」は、全国で150医療機関(病院59、クリニック91)が実施しており、愛知県では7医療機関(病院6、クリニック1)と中々進んでいません。

この40年を振り返ってみると精神保健医療福祉の施策は大きな変遷があり、現状があることを認識させられました。いずれにしても、当院の理念である「一人ひとりの患者さまの幸せのために」を念頭に、地域のニーズに対応できる地域に開かれた精神科病院としてあり続け、私は、精神疾患と障害を併せ持つ精神障害者とその家族に誠意を持って謙虚に向き合い支援して行くことを継続していく覚悟です。

基本理念　一人ひとりの患者さまの幸せのために
～ For the Patients ～

精神保健医療福祉情報

平成30年度診療報酬改定（精神科抜粋）

今回の診療報酬の改定について、精神科領域での変更点をまとめました。すでにご存知の方も、改めてお読みいただければ幸いです。

① 精神科専門療法の「疾患」の定義変更について

診療報酬明細書の疾患の傷病名にICD-10を用いることを原則とする。精神疾患とは、ICD-10の5章に該当する疾病又は第6章に規定する「アルツハイマー病」、「てんかん」及び「睡眠障害」に該当する疾病を指す。（但し、レセプトの審査において認められない場合もあるようです）

② 向精神薬処方の適正化について

抗不安薬、睡眠薬の更なる多剤への適正化（抗不安薬2剤以下、睡眠薬2剤以下、かつ抗不安薬と睡眠薬は合わせて3剤以下）とベンゾジアゼピン系抗不安薬・睡眠薬の長期継続投与（1年以上）の是正。

③ 質の高い精神科医療の評価として

入院精神療法(I)と精神科電気痙攣療法の麻酔科標榜医が麻酔を実施した場合の評価。

④ 訪問支援の充実として

「精神科在宅患者支援管理料」の新設、改正前の精神科重症患者早期集中支援管理料と比べて、患者の状態に応じ、継続的に訪問支援を実施した場合にも算定可能な区分が設けられたことと、専従従事者の配置要件を不要とし重症患者以外に訪問支援を実施する場合に於いて24時間の連絡体制や往診体制に係る施設基準が緩和された。

⑤ 措置入院患者への精神医療の評価（退院時及び退院後）について

措置患者に対して、入院中から退院後の支援のニーズに関するアセスメントを実施し、自治体と連携した退院支援を実施した場合の評価や自治体が作成する退院後の支援計画において支援を受ける期間に当該計画において療養を提供することとされている医療機関への評価が新設された。

⑥ 精神科救急入院料の算定要件及び施設基準の見直しについて

地域における精神科救急医療体制の貢献や他の医療機関との連携を評価する観点から、初診の患者数や自治体等からの受け入れ患者数の基準が新たに設けられ、時間外の外来受入数と入院受入数も見直された。又、在宅移行の要件の変更や病床数の上限等も設けられ、夜間における看護職員への手厚い配置や看護職員の負担軽減に資する取り組みを行っている場合の評価として看護職員夜間配置加算の新設も実施された。

他にも

★看護配置加算と看護補助加算に係る評価の充実と加算要件の見直し
★認知症治療病棟に係る評価の見直し
★かかりつけ医と認知症サポート医等の連携に係る評価
★精神科包括病棟におけるクロザピンの包括範囲からの除外
★小児医療、周産期医療における精神科・心療内科への評価
★遠隔診療、公認心理師の評価

なども行われました。このような内容を踏まえて今回の医療費の改定率は、診療報酬本体で+0.55%、薬価は▲1.65%の改定となりました。

医療事務部／石黒・加藤

病院TOPICS

第15回京ケ峰岡田病院地域懇談会のご報告

日　時	平成30年5月29日(火) 14:00～16:00
会　場	当院ソーシャルセンター内京ケ峰ホール
ご参加者	46機関 63名（保健所、役場福祉課、相談支援事業所、消防署、他科医療機関、福祉サービス事業所、家族会、地域住民代表など）
病院見学	10機関16名の方が見学をされました

1 当院の地域生活支援等の状況の報告

①当院の状況　②受診相談の状況
③インテーク面接（予診）の状況　④退院後動向の状況
⑤精神科訪問看護指導の状況　⑥精神科デイナイトケアの状況

2 質疑応答など

成年後見制度の鑑定書等の作成について、認知症の方の運転免許証、就労支援に関しての取り組み、大規模災害時（南海トラフ地震など）の受け入れなど幅広いご意見やご質問をいただきました。

3 ご参加者アンケート結果より

» 初診が予約なしで診てもらえるという事は、大変有難く感じています。それで救われた方がいらっしゃいました。
» 地域と共にという姿勢が伝わり、このような精神科が各地に広がってほしいと感じました。PSWの数や技量が充実していることも患者さんにとってとても頼もしい限りです。
» 病院との情報共有・交換をできる機会はなかなかないので、今後も続けていただきたいです。また、事例などの実践発表も聞けるとうれしいです。
» 医師の具体的な話を聞けて、勉強になりました。また、警察、消防、行政、家族などの話が聞けてよかったです。
» 取り組みを知るだけでなく、質疑応答を通して、より理解を深めることができました。

などの感想をいただきました。「**開かれた精神病院として西三河地域の代表病院としてリーダーシップを取って行ってください。**」と大きなご期待もいただきました。

4 まとめ

年々参加者も増えてきて、当院の状況をお伝えしていくとともに、当院に対する期待を感じる会になりました。ご参加いただきました皆さまには、この場をお借りして感謝申し上げます。

PSW 部 辻川

行事報告

希望会ソフトボール大会
愛知県口論義運動公園で開催されました。初戦で優勝したチーム刈谷病院と試合をし、3対1 で惜しくも2回戦進出を逃しました。

地元中学生職場体験
将来、医療機関で働きたいと思っている中学生が3日間体験をしました。

希望会卓球大会
名古屋市中村スポーツセンターにて開催されました。桶狭間病院藤田こころケアセンターや松蔭病院のチームと対戦しました。

デイケア日帰り旅行（あいち航空ミュージアム）
歴代の飛行機の模型、実物大の旅客機などを見ることができました。また、展望台からは実際の飛行機の離発着が間近で見ることができ、とても迫力がありました。

開院80周年記念 院内パターゴルフ大会
葵病棟前、プレイヤードで開催されました。18ホールを60以内のスコアで回る人、ホールインワンも出て、楽しい時間を過ごしました。

開院80周年記念 第13回京ケ峰倶楽部展
岡崎市美術館にて開催。今年のテーマは80歳＝傘寿（さんじゅ）にちなみ、「さんさん」。開催期間中630名もの方にご来場いただきました。

デイケア日帰り旅行（東山動植物園）
最近、話題になっているゴリラの「シャバーニ」や叫び声が特徴のフクロテナガザルなどを見ることができました。また天気がとても良かったため、スカイタワーからの眺望も綺麗でした。

デイケア バーベキュー
当日の朝まで天気が心配でしたが、心地よい風が吹く中、肉や野菜などお腹いっぱい食べることが出来ました。

ふかみ一座公演
毎年の楽しみとなっているふかみ一座の公演。今年も約200名の患者さま、職員が相撲甚句や歌を楽しみました。

おすすめコーナー

石との出会い

キラッ!視線の先の地面に眩しく光るモノが･･･。
15年ほど前、子どもと妻の実家近くのとある公園で遊んでいた時のことです。
その光るモノを手に取り、よく見てみると透明でキラキラした爪楊枝のような小さな石でした。大切にポケットにしまい、帰宅後に義父に見せると、それは水晶らしく、その地は有名な水晶の産地であるとのこと。
これが私と石との偶然の出会いとなったのです。小さなその水晶はキラキラと輝き、心をくすぐり、一瞬にしてその虜になってしまいました。
休日には東海三県を中心に鉱物採集（石拾い）をし、鉱物の本を買い、地学の勉強までし、気がつけば「鉱物鑑定士」なる資格を取得していました。
この地方でもいろいろな石が採集できて、皆さんが知っている石を挙げると、トパーズ、黒水晶、緑柱石（アクアマリン原石）、コランダム（サファイア原石）、ザクロ石（ガーネット原石）等があります。いわゆる「宝石」と呼ばれるものの原石です。
「宝石」なんて素敵な響きでしょう。これが実際に自分の手で拾えてしまうのです。いつも拾えるわけではないですが、びっくりするようなキレイな石に出会えることがあります。
ハイキングや登山が注目されている中で、ちょっと地面にも目を向けてみてください。そこに素敵な出会いがあるかもしれません。
きっとまだ誰にも気づかれずに眠っている石たちが、たくさんあると思います。
さあ、今度はどこへ石拾いに出かけようか!

訪問看護部　中野

※次号は、北1病棟の中山さんが担当します。

編集後記

我が家の猫は6才になる女の子です。甘えてきたかと思うと、ぷいっとどこかへ行ってしまったり、急に一点を凝視してみたりと自由で気ままな猫です。以前は孫の存在を警戒し距離感がありましたが、現在では仲良く遊んでいる姿を見ると心が癒されますね。　広報委員　新家

京ケ峰岡田病院
〒444-0104　愛知県額田郡幸田町大字坂崎字石ノ塔8
TEL（0564）62−1421　FAX（0564）62−9338
ホームページ www.kyogamine-okada.com